

平成29年度第2回契約監視委員会

【 議事要旨 】

平成30年3月

独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 平成30年3月20日（火）10:00～12:00
- II. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 第一役員会議室
- III. 出席者 (委員) 内田（海）委員長、内田（清）委員、
中島委員、千田委員
(機構) 山城財務担当理事、工藤総務部長、
饒平名財務部長、大澤監査統括室長 他

【議事概要】

1. 開会挨拶（山城理事）

2. 報告事項及び審議事項

(1) 報告事項

①前回の契約監視委員会の意見等に対する検討・対応状況

主な意見
特段の意見なし。

②平成29年度上期（4月～1月）公益法人に対する支出の点検について
・該当なし。

③平成29年度 中小企業基盤整備機構 調達等合理化計画の上期実績

(2) 審議事項

①平成29年度上期（4月～12月）契約の一者応札案件

今回の審議対象期間（平成29年度上期）の契約案件（134件）のうち一者応札・応募となった7件から各委員の評価により選出した5件の案件について、点検・審議した。

（※個別案件の審議概要は（別紙1）参照）

—以上—

○個別案件の審議概要

【 共済システムに係るデータエン트리請負業務 】
主な意見
<ul style="list-style-type: none">・ この連想式の入力方法の技術を要していることが必要だというのは、スピードを確保するために必要ということか。それとも、システム上、その入力方法による文字でないを受け付けないということか。・ 特殊な能力、優れた技術の人を少人数で行うのか、それほど優れていないけれども、大人数に業務にあたるかという違いが出てくると思うが、後者で対応は取れないか。・ 入力方法を見直すとなると、初期費用がどの程度かかるか。トータルでコスト比較するとどうなるか。

【 共済業務に係るデータエントリー（オンライン）業務 （平成29年8月～平成32年7月） 】
主な意見
<ul style="list-style-type: none">・ 審議案件（共済システムに係るデータエン트리請負業務）と比べて、落札率が8割程度になっていることを考えると、比較的参入しやすい案件であり、専門性を排除していくのは非常に大切と思われる。

【 中小機構インキュベーション施設用WAN回線の
新規調達の実施に係る請負業務 】

主な意見

- ・ 納期的に達成できない等、入札辞退理由が挙げられているが、事業者が入札参加できる環境であるかを事前調査の段階でどの程度把握されていたか。
- ・ 契約期間である29年9月1日から30年9月30日までに物理的な敷設を完工する必要があり、新しく敷設された1回線上で閉域でオフィス365が動くかどうかということで、審議案件（Microsoft Office 365 向け閉域回線の構築および運用業務）と時期が重なる。物理的なトラブルが生じたときに、物理的な問題なのかシステム構築の問題なのか判別がつかなくなることを事業者が恐れたと思われる。

【 Microsoft Office 365 向け閉域回線の構築および運用業務 】

主な意見

- ・ 審議案件（Microsoft Office 365 向け閉域回線の構築および運用業務）の落札のタイミングとの影響はないか。
- ・ 5年契約で6,000万円とあるが、支払い条件はどうなっているか。一括の完成払いが支払い条件となると、中小企業は参加できないと思われる。

【 小規模事業者統合データベースに係る維持運營業務（29年度） 】

主な意見

- ・ 一者応札であり、落札率が高いということだが、29年度は前回の契約と業務内容が変わった中で、どのように予定価格を作成したか。業者から設計のための見積もりを徴収したか、それともこれまでの入札を踏まえて独自に算定できたか。
- ・ 問題はこの前年度の28年度に際して、どういう見積もりを徴収したかになる。
- ・ 契約事前確認公募を行うとなると、どういう調達のやり方になるのか。